



世界一美しいパスポート

作家・ドイツ在住 川口マーン恵美

外務省に心から感謝！

1月に新しいパスポートを受け取ったが、開いてみてビックリ。こんなに美しいパスポートが存在するとは…！

全50ページに、葛飾北斎の「富嶽三十六景」から取ったさまざまな富士山のモチーフが、淡い色調のモノトーンでちりばめられている。渡航の機会の多い本誌の読者はご存じだったかもしれないが、私は10年物を使っていて、この新パスポートの存在をこれまで全く知らなかった。

デザインが変わったのは2020年2月4日の申請分からだそうで、顔写真のページも、末尾の緊急連絡先のページも、とにかく全ページに北斎の富士山が入っている。この美しいページに査証スタンプが押されるのは「玉にきず」で悲しいが、しかし、残念ながら私の新パスポートには、ドイツ入国のスタンプがすでに1個……。

なお、25年3月24日からは、偽造・変造対策を強化するため、顔写真ページは特殊なプラスチック基材で加工され、文字と写真はレーザーによる印字だという。第1ページ(写真ページの裏)もプラスチック加工で、やはり富士山



パスポートの顔写真ページ(サンプル)

のモチーフだが、こちらは、少し揺らすと、桜の花びらと、菊の御紋の外務省のスタンプが、隠し絵のよ

うに見え隠れする仕掛けになっている。こんな粋なパスポートを作ってくれた外務省に、心から感謝したい気分だ。

ドイツに戻った後、早速、娘の一人に見せびらかした。すると、彼女はじっくり全ペ

ージを繰った後、「日本人って自分たちの国に誇りを持っているのね」と、感慨深そうに一言。

私としては、「きれいね!」という言葉ぐらいしか期待していなかったもので、その感想が意外で、かつ嬉しかった。そして、私がこのパスポートを自慢したくなったのも、確かに、日本に対する誇りの表れだったのかもしれないと思った。

やはり今年になってパスポートを取った私の友人は、フランクフルトの旅券審査の窓口で、「見て、見て、新しいパスポート。素敵でしょう!」と言ったらしい。すると、国境警察の係官は、2人で感心しながら全ページ見ていたというから、かなり笑える話だった。

その後、他の友人にまたパスポートの話をしたら、その人がしみじみと「そうか。そういう奇麗なパスポートは日本を好きな人に使ってほしいね」と言ったので、これまた奥深いと感心。



2020年発給開始時の宣伝ポスター (画像はいずれも外務省ホームページから)